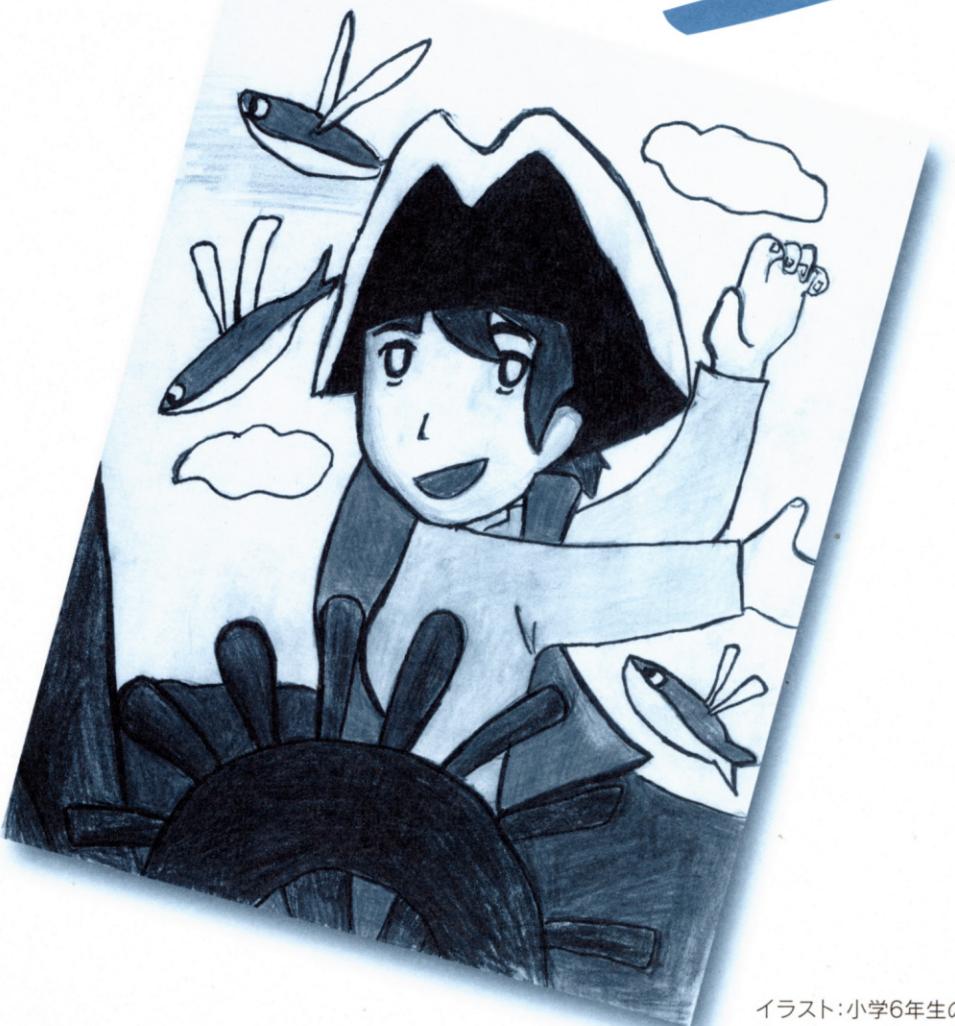




特集

アニメーション

特集



アジアの子どもたち

特集

8

福岡市総合図書館映像ホール

Ciné-là

シネラ・ニュース
August.2002 No.73

イラスト:小学6年生の作品

ひょうたんすずめ

日本民話「ふしぎなひょうたん」にヒントを得たオリジナル・アニメ。途中、どこが「ひょうたんすずめ」か解らなくなるほど、大胆な展開を見せるところが楽しい。暴れ者のカエルのダンベと息子・ケロ八がカエルの村にやって来て大暴れ。ついには村を支配してしまう…。

1959年/35ミリ
カラー/55分
おとぎプロ
監督:横山隆一

あとぎの世界旅行

14水 11:00
16金 15:00
24土 11:00



1962年
35ミリ/カラー
76分/おとぎプロ
監督:横山隆一

おとぎプロによる劇場公開三作目となるこの作品は、短編作品につなぎのシーンを入れて制作されたオムニバス作品。ソーラン老人とオケサ青年は、世界各地で漫画映画を上映するために、蒸気自動車で旅に出発。いろんな漫画映画を上映する。

特集

アジアの子どもたち

アジア各国の子どもを主人公にした映画の特集

1日(木)14:00
10日(土)15:00

青いマンゴー

The Raw Mango

監督:アモール・バーレカル
出演:シルバー・ナヴァルカル
ヨギター・デーシュムク



日本語・英語字幕付き

主人公の少女は、両親を亡くしたことでの叔母の家に預けられる。ターニーおばさんは美しく優しい人だが、おばさんの夫は横暴な男だった。少女は学校に通い友達もできるが…。大人たちの悲劇の物語が少女の目を通して描かれる。同時に少女の子供の頃の思い出が、美しく詩情豊かに描かれる作品で、インド映画の傑作である。

1999年/35ミリ/カラー/97分/インド

2日(金)19:00
11日(日)11:00

春へ

The Spring

監督:アボルファズル・ジャリリ
出演:マヒディ・アザディ



日本語・英語字幕付き

モハマド少年は、戦火の町を逃れ森にひとりで住んでいる老人シナのものとに預けられる。シナはモハマドを息子のように可愛がり、いつか戦争は終わると励ますのだった。まだイラン・イラク戦争が続いている最中に製作された作品で、春を待ちわびる老人と少年に、終戦を待ち望むイランの人たちが投影されている。

1985年/35ミリ/カラー/85分/イラン

4日(日)11:00
8日(木)14:00

おせっかいはNO、愛はOK

Love is Oh Yeah

監督:キム・ユジン
出演:ソ・ジェギョン
キム・ウンミ



日本語・英語字幕付き

ギホは13歳の少年、成績は悪いが野球が大好きで、クラスの中で野球のチームを作ろうと提案する。担任の先生は応援するのだが、校長先生や親たちは、子供たちが怪我をする危ないと反対するのだった。しかし熱心な子供たちのため、別の小学校と試合をして判断をすることになる。子供たちの明るさが溢れる楽しい作品である。

1993年/35ミリ/カラー/98分/韓国

桃太郎

海の神兵

1944年/35ミリ
モノクロ/79分
松竹
監督:瀬尾光世



14水 15:00
17土 11:00
23金 19:00

16金 11:00
18日 11:00
25日 11:00

ふくすけ

あるカエルの家に極端に頭が重い子ガエルが生まれた。「ふくすけ」というあだ名がついたその子ガエルは頭が重すぎいつも逆立ちしたまま。心配した両親はいろいろ工夫するがなかなか上手くいかない。ついには医者に相談して頭を軽くする治療をしてもらうが…。

おとぎプロ、劇場用作品第一作となった短編。

戦時に戦意高揚を目的として海軍の後援で制作された作品。全体を昔話の「桃太郎」になぞり、日本軍を桃太郎側、連合軍を鬼側としている。戦前、戦中の長編動画の最高傑作といわれ、制作に一年を費やした。公開当時、終戦間近、連夜の大空襲の合間に映画館でこの作品をみた手塚治虫が、その完成度に涙したという。

1日(木)19:00
11日(日)15:00

めざめ

The Initiation

監督:アルン・コウル
出演:アシ・シュ・ミシュラ
マノ・ホール・スイン



日本語・英語字幕付き

ナンニー少年は、バラモンの導師の元に入門する。先輩にからかわれるながらも修行に励むナンニーは、不可触民の下男コーラや院長ウドップの娘ヤムナーと仲良くなる。ところがウドップが留守の時、ヤムナーは村の教師に誘惑され、妊娠してしまう。カースト制批判が少年の目を通して描かれる。

1991年/35ミリ/カラー/139分/インド

3日(土)11:00
9日(金)14:00

七つの海を越えて

Beyond the Seven Seas

監督:エスベン・トッシュテンソン
サイド・アンジュム
出演:サジド・フェセイン
ザフル・マリク



日本語・英語字幕付き

パキスタンに住むアシュラム少年の父親はノルウェーに単身出稼ぎに出てしまう。やがて一家全員でノルウェーに移住する。初めて見る雪に驚くアシュラム。彼は学校に通い、同級生の無理解や偏見を経験しながら、次第に友達を作っていく。

1991年/35ミリ/カラー/88分/パキスタン=ノルウェー

4日(日)15:00
8日(木)19:00

少年と狼

Wolf Cub Among People

監督:タルガット・メメノフ
出演:アイキン・カリコフ
ヌルジュマン・イフティムバエフ



日本語・英語字幕付き

11歳のサマト少年は祖母と二人で暮らしていた。ある日狼の巣を見つけたサマトは子供の狼をつれて帰る。家で飼うことを反対されたサマトは子狼を内緒で飼うことにする。しかし子狼は村人に見つかって剥製を作っているアサンベックにわたされてしまう。ソ連崩壊前後に製作された作品で、監督の若い感性を感じる作品。

1989年/35ミリ/カラー/83分/カザフ

3日(土)15:00
7日(水)19:00

ステファノとグレチェン

Oseam

監督:パク・チョルス
出演:シム・ジェリム
ソ・イェジン



日本語字幕付き

ステファノは5歳の少年、グレチェンは10歳の目の見えない少女。姉弟は教会に預けられていたが、ある日グレチェンに養子の話が持ち上がる。離ればなれになりたくない姉弟は、施設を抜け出して、故郷の村に向かう。仏教説話を下敷きにした物語で、大人の童話といった趣である。

1990年/35ミリ/カラー/115分/韓国

7日(水)14:00
9日(金)19:00

ドゥルの少年期

Si Doel Anak Betawi

監督:シュマンジャヤ
出演:ラノ・カルノ
フィフィ・ユン



日本語字幕付き

ジャカルタ郊外に住む少年ドゥルは、父親が突然事故死してしまい、生活のために母の手伝いで菓子売りをしなければならなくなる。ドゥルの夢はみんなと一緒に学校に行くことだった。この映画は公開当時大ヒットを記録し、ドゥルの名前を知らない人はいないと言われるほどの人気となった。

1973年/35ミリ/カラー/86分/インドネシア

特集

森の伝説

1987年／35ミリ／カラー
29分／手塚プロダクション
監督：手塚治虫、宇井孝司

手塚治虫の遺作となった未完の長編アニメーション。チャイコフスキーの交響曲第4番にのせて、自然破壊に対する文明批判を展開していく。技術的にもアニメーション技法の進化の歴史をなぞった意欲作だったが、製作途中で手塚が死去し、第一楽章と第四楽章が完成したのみとなった。



15木 15:00
18日 15:00
21水 19:00

もと虫プロのアニメーター達を中心に結成されたグループ・タックによって自主制作として制作が開始され、その後ヘラルドが資金援助して完成、公開された。映画は童話「ジャックと豆の木」にオリジナル・ストーリーを加えたミュージカル・アニメになっている。

1974年／35ミリ／カラー／98分
ヘラルドエンタープライズ=グループ・タック
監督：杉井ギサブロー

ジャックと豆の木

25日 15:00
28水 14:00
30金 19:00

どうぶつ宝島

1971年／35ミリ
カラー／78分
東映動画
監督：池田宏

夏休みの恒例企画となつた子どもを主人公にした作品の特集です。時代も国も多岐に及んでいますので、そこに共通点を見いだすのは困難かもしれません。しかしどの作品でも子どもたちの明るさ、純粋さは我々に未来への希望を感じさせずにはあきません。両親を亡くし叔母の家に預けられた少女の成長を描く「青いマンゴー」、子どもたちの元気がスクリーンから溢れる「おせっかいはNO、愛はOK」、異文化との触れ合いを描いた「七つの海を越えて」、少女の愛らしさと無垢な友情が心を打つ「ザ・ブーツ」など、様々な時代と社会の中でたくましく生きる子どもたちの姿をご覧ください。

会期：1日(木)～11日(日) ※休館日・休映日除く

観覧料：500円(大人)

400円(大学生・高校生)

300円(中学生・小学生)

15木 11:00
17土 15:00
24土 15:00

展覧会の絵

1966年／35ミリ／カラー
32分／虫プロダクション
総監督：手塚治虫

ムソルグスキーの組曲「展覧会の絵」をベースに、手塚が虫プロの若いスタッフと共に作った作品。十の小曲をプロムナードと呼ばれる間奏曲でつなぎ構成という、原曲の特色を利用し、曲に合わせたオムニバス作品であり、随所に手塚らしい社会批判、文明批判をのぞかせている。



夏休み特集としてアニメーションを特集します。漫画「フクちゃん」で知られ、昨年亡くなられた横山隆一氏が主宰したアニメーション製作会社あとぎプロの作品や、宮崎駿も在籍していた東映動画の代表作、漫画家・手塚治虫の晩年の個人作品など、バラエティに富んだ内容です。是非、親子でご鑑賞ください。

21水 14:00
30金 14:00
9/1日 15:00

わんわん忠臣蔵

1963年／35ミリ／カラー
81分／東映動画
監督：白川大作

手塚治虫が原案・構成で参加した作品。虎のキラーとその手下、キツネの赤耳のだまし討ちにあい、母犬のシロを殺された子犬のロックは四十七匹の犬仲間と協力し、見事、仇討ちを果たす。「忠臣蔵」をもとにしているが、大人も子供も楽しめるようにシンプルな物語になっている。

スチーブンソンの「宝島」が原作だが、海賊達をすべて動物に置き換えるミカルなアクションをふんだんに取り入れた作品になっている。アイディア構成に宮崎駿も参加。海と冒險にあこがれるジム少年が、海賊の末裔・キャッサー、ネズミのグランと共に宝の地図を巡って大冒險を繰り広げる。

わんぱく王子の大蛇退治

1963年／35ミリ／カラー
86分／東映動画／監督：芹沢有吾

東映動画初期の傑作の一つであり、その後の東映動画のカラーを決定づけた作品。日本神話のスサノオノミコトの冒険談をもとにしたアクション活劇。腕白ものの主人公・スサノオは亡くなった母親を慕い、ウサギのアカハナと共にヨミの國へ向かって旅に出る。

22木 19:00
29木 14:00
31土 15:00

白蛇伝

1958年／35ミリ
カラー／79分
東映動画
監督：藪下泰司

23金 14:00
29木 19:00
9/1土 11:00

日本初のカラー長編动画作品。中国の明朝、清朝時代に流行した「白蛇伝」という小説をもとにしている。いま見ると技術的には粗い部分なども少なく見られるが、少ない製作期間と製作費、スタッフによって完成できたこと自体が奇跡といえる。戦後日本アニメにおける記念碑ともいえる作品。

アニメーション

特集

会期：8月14日(水)～

9月1日(日)

※休館日・休映日除く

観覧料：500円(大人)

400円(大学生・高校生)

300円(中学生・小学生)

※定員制・各回入替制

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※福岡市在住の障害者の方は無料、福岡市在住の65才以上の方は半額。(手帳の呈示が必要です。)

龍の子太郎

「キューボラのある街」などの作品で知られる浦山桐郎が監督した唯一の动画。日本民話をもとにした松谷みよ子の児童文学が原作。背景などにも工夫を凝らし、落ち着いた作品となっている。自分の母親が龍になっていることを知った少年が、その龍に会うために旅に出る。

1979年
35ミリ／カラー
75分／東映動画
監督：浦山桐郎



22木 14:00
28水 19:00
31土 11:00

フクちゃんと アトムと 日本アニメ

私は結構長い間、日本の国産TVアニメシリーズの最初は1963年(昭和38年)に始まった虫プロの「鉄腕アトム」だと思っていた。ところが実はわざと本編1分(番組としては3分、つまり本編より長いCMが入る)ながら、アトムより先に国産のTVアニメシリーズがあったというのを、後で知った。1961年(昭和36年)に始まった「インスタント・ヒストリー」シリーズがそうだ。毎日その日の歴史的事件をアニメで紹介する番組だったそうだが、いかんせん私が生まれる前の話なので当然見たことはない。この「インスタント・ヒストリー」を作成したのが「フクちゃん」の漫画で知られた横山隆一が主宰したおとぎプロである。

その「フクちゃん」のキャラクターを利用したアニメが戦時中、いくつか作られている。「フクちゃんの奇襲」(1941年)「フクちゃんの増産部隊」(1943年)「フクちゃんの潜水艦」(1944年)などがそれで、いずれも人気キャラクター、フクちゃんを利用した子供向けの短編戦意高揚映画のようだ。原作以外に演出、脚色などに横山隆一がクレジットされている作品もあるのだけれど、実際にどこまで関わっていたかは解らない。

横山隆一は、戦前ディズニーの「シリー・シンフォニー」というアニメのシリーズを見て以来、アニメに魅せられた。そしてP·C·Lに研究員として入社し、動画の試作したこともあるという。1930年代のはなしである。戦後の1955年、横山は16ミリカメラを購入、「おとぎプロ」を設立し、離れの2階をスタジオにして動画製作を開始する。しかし第一作、第二作は16ミリの試作品だったようで、一般には公開していない。そして第三作目となる「ふくすけ」を35ミリで製作、東宝が購入し、東宝系で公開された。この35ミリ作品の製作を機に、専用スタジオを新たに作り、スタッフも増員している。

この横山隆一が率いた「おとぎプロ」は日本のアニメの歴史において、どのように位置づけられるものなのだろうか。東映動画の劇場用長編アニメ、虫プロのTVアニメシリーズは、日本におけるアニメの産業としての可能性を示した。その意味で戦後アニメのパイオニアであり、多くの人材がそこから育った。その一方で、人件費を低く抑え、年2作の長編や週1本の30分番組制作を不十分な人員で強行したことは事実だ。それでもなお初期の作品に名作が数多くあるのは、動画製作に関わった人々や、手塚治虫をはじめとしてアニメに

魅せられた人々の情熱に支えられていたに過ぎない。だが、劇場やTVで一定の番組枠を確保することが、作品の質よりも優先してしまうこともしばしばあった。これに対し「おとぎプロ」は少数のスタッフでスタートし、前述の一分間のTVシリーズの他、TVC用のアニメを製作する一方で、劇場用長編作品を数作品製作したにすぎない。しかし、おとぎプロの35ミリカラー作品第一作となる「ふくすけ」は、同じカラー作品として東映動画のカラー長編第一作「白蛇伝」よりも前に作られ、技術面、特に彩色に関しては「ふくすけ」の方が明らかに丁寧に作られている。

「白蛇伝」や「鉄腕アトム」は、カラー長編アニメやTVアニメシリーズを日本で作り、それが経済的に成立する、すなわち企業として成り立つということを証明することが一つの大きな目標であった。一方、初期のおとぎプロは、そうした経済面に対してはほとんど気にせず、出来る範囲の中で動画を作ろうとした。むろん、手塚治虫にてもただ経済的な成功のみを追求して、虫プロをおこしたわけでは決してない。むしろ、より純粹な作品を作れるようにするために、経済的な基盤を作ったかったのだろう。

経済的な制約と創作面での自由との衝突は、映画に限らずあらゆる表現で問題となっている。当時、一般映画の3倍近い経費と手間がかかるといわれ、なかなかあくまで子供向けといわれていたアニメーションを劇場で一般公開して、しかも利益をあげるということは極めて難しかった。

TV放送とキャラクターの版権業務などをを中心に規模を拡大していく虫プロは、結局劇場用動画製作の際の負債が大きな引き金となって倒産してしまう。おとぎプロも劇場用作品の製作の際の負債と公開の仕方の問題から、劇場用作品から撤退することになる。

手塚治虫も横山隆一も、ディズニーを目標として本格的な動画製作を始めた。共に商売人ではないだけに、経営面での問題も少なからずあったかも知れない。しかし例えどんなに人気があろうとも、どんなに良質な作品を作ろうとも、当時のブロック・ブッキングの中で虫プロもおとぎプロも配給系列を持たない独立プロダクションにすぎなかつたことが、結局夢半ばにして挫折していく大きな要因の一つとなった。

当時の東映動画、虫プロ、おとぎプロ出身のスタッフ達がその後の日本のアニメ界を支えていく。彼らは手塚や横山が持っていた夢や情熱を受け継ぎ、困難な状況の中で闘っていた。そしてそれに続く人々も多く現れている。アニメは劇場においてもTVにおいても一つの主力のジャンルとしてその地位を確立してきている。そして日本のアニメ製作の技術は世界でも屈指であり、国内ではハリウッド映画を上回る観客動員を記録する作品も表れるようになっている。

いまは亡き手塚治虫や横山隆一は、こうした日本のアニメの現状を天国でどんな思いで見ているのだろうか。

映像調査員 山本 宰

インフォメーション

シネラニュース送付のご案内

定期購読ご希望の方に毎月シネラNEWSをお届けしております。購読を希望される方は、平成14年9月号～平成14年3月号までの郵便切手(90円×7ヶ月)を同封の上、下記宛先へお申し込みください。

宛先: 〒814-0001 福岡市早良区百道浜3-7-1
福岡市総合図書館 映像資料課

ビデオ編集技術研修室の一時使用中止について

ビデオ研修室では、編集機能を強化するため、編集機器の追加を行います。この設置に伴う作業により、休館日をはさんで、7月29日(月)から8月9日(金)まで、使用を中止いたします。利用者の方にはご迷惑をおかけしますが、ご理解願います。

福岡市総合図書館映像資料課

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là 福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表)092(852)0600 映像資料課092(852)0608 Fax.092(852)0609

福岡市総合図書館ホームページアドレス <http://toshokan.city.fukuoka.jp/>

8月

1 木	14:00 青いマンゴー	19:00 めざめ
2 金	14:00 ザ・ブーツ	19:00 春へ
3 土	11:00 七つの海を越えて	15:00 ステファノとグレチェン
4 日	11:00 おせつかいはNO、愛はOK	15:00 少年と狼
5 月	休館日	
6 火	休映日	
7 水	14:00 ドゥルの少年期	19:00 ステファノとグレチェン
8 木	14:00 おせつかいはNO、愛はOK	19:00 少年と狼
9 金	14:00 七つの海を越えて	19:00 ドゥルの少年期
10 土	11:00 ザ・ブーツ	15:00 青いマンゴー
11 日	11:00 春へ	15:00 めざめ
12 月	休館日	
13 火	休映日	
14 水	11:00 おとぎの世界旅行	15:00 ひょうたんすずめ/ふくすけ
15 木	11:00 森の伝説/展覧会の絵	15:00 ジャツクと豆の木
16 金	11:00 桃太郎 海の神兵	15:00 おとぎの世界旅行
17 土	11:00 ひょうたんすずめ/ふくすけ	15:00 森の伝説/展覧会の絵
18 日	11:00 桃太郎 海の神兵	15:00 ジャツクと豆の木
19 月	休館日	
20 火	休映日	
21 水	14:00 わんわん忠臣蔵	19:00 ジャツクと豆の木
22 木	14:00 龍の子太郎	19:00 わんぱく王子の大蛇退治
23 金	14:00 白蛇伝	19:00 ひょうたんすずめ/ふくすけ
24 土	11:00 おとぎの世界旅行	15:00 森の伝説/展覧会の絵
25 日	11:00 桃太郎 海の神兵	15:00 どうぶつ宝島
26 月	休館日	
27 火	休映日	
28 水	14:00 どうぶつ宝島	19:00 龍の子太郎
29 木	14:00 わんぱく王子の大蛇退治	19:00 白蛇伝
30 金	14:00 わんわん忠臣蔵	19:00 どうぶつ宝島
31 土	11:00 龍の子太郎	15:00 わんぱく王子の大蛇退治
9/1 日	11:00 白蛇伝	15:00 わんわん忠臣蔵



交通アクセス: 当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

地下鉄: 西新駅または藤崎駅から徒歩15分

西鉄バス: 天神～都市高速経由～福岡タワー南口

(所要時間 昼間で約20分)

博多駅～都市高速経由～福岡タワー南口

(所要時間 昼間で約25分)

福岡タワー南口バス停から徒歩3分

いずれも、昼間は10～15分間隔で運行されていますので大変便利です。お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセンター(電話 733-3333)に直接お問い合わせください。



昔は、夏休み前に映画の割引券をもらつただけで心が弾んだ。娯楽があふれ、一方で休み中にも塾通いがある今の子どもには、少し前のアニメはどう映るのだろうか。ともあれ、夏のひととき、純な瞳をスクリーンに向けていただきたい。(H.M.)